

浅间台

松戸市立第二中学校

令和5年度 5月号

〈『A I』とどう向き合っていくか ～「^{おもんばか}慮る」ことができる人間の価値～〉

校長 佐野 公雄

最近、『Chat GPT』なるものが話題となり、世間を騒がせています。アメリカの非営利目的のA I 研究所が開発したもので、大量のテキストデータから言語学習を行い、人間にとっても近い自然な文章を作り出すことができるそうです。キャッチコピーの生成や文章の添削なども行うことができるそうです。ある社会人がプレゼンの資料を『Chat GPT』に校正してもらい、出来栄が向上したという話や、議員が演説の内容を『Chat GPT』に考えさせたという噂も耳にします。私の好きな映画『アイアンマン』で、主人公トニー・スタークが頼りにしている人工知能「ジャービス」が、現実味を帯びてきたのではないかと驚くと同時に、おおきな不安が込み上げてきました。まず、下の口のなかの問題を考えてみてください。

次の文章を読み、(1)～(3)から正しいと言えることは○、そうでないものは×を答えなさい

公園に子どもたちが集まっています。男の子も女の子もいます。よく観察すると、帽子をかぶっていない子どもは、みんな女の子です。そして、スニーカーを履いている男の子は一人もいません。

(1)男の子はみんな帽子をかぶっている。(2)帽子をかぶっている女の子はいない。

(3)帽子をかぶっていて、しかもスニーカーを履いている子どもは一人もいない。

さて、みなさんはしっかり文章を読み取れたでしょうか。この問題で、大学生の正答率は、64.5%だったそうです。なんと、3人に1人は内容を読み取れていないのです。ちなみに正解の○は(1)だけです。

私は昨年『A I vs 教科書が読めない子どもたち』右下写真(新井紀子著、東洋経済新報社発行)という本を読んだのですが、上記の問題はその本のなかに記されていたものです。著者の新井紀子氏は、「読解力」の大切さについて論じていて、「多くの子どもたちは、教科書に書かれている文章の意味を理解できていない。」と、警鐘を鳴らしています。著者は「ロボットは東大に入れるか」という人工知能プロジェクトのディレクターを務めた方です。彼女は近い将来、「人間はA Iに、ほとんどの仕事を奪われてしまうのでは？」という危機感を感じていたそうです。現に銀行窓口はA T Mに取って代わり、カメラもデジタル化で写真の現像はいらなくなりました。最近では、レストランで料理をロボットが運んでくれます。新井氏は「A Iは何をどこまでできるのか、人にできてA Iにできないことは何か」を探るため、A Iロボット通称『東ロボくん』を使って研究を進めてきました。『東ロボくん』には東大の過去問や様々な例文など、数百億というとてつもないデータがインプットされ、その莫大なデータの中から正答を導き出すのです。残念ながら(?)『東ロボくん』の東大合格は叶いませんでしたが、この研究を通して、著者はA I(コンピュータ)の課題を「コンピュータはいわゆる計算機。言葉の意味まで理解して答えを導き出すわけではない。文章の内容を読み解く力『読解力』が大きな壁である。」と話しています。コンピュータは様々な言語を数式に置き換え、計算処理をして答えを導き出すことができます。言語そのものの意味やことばのニュアンス、また、そのことばに込められている思いや心情などは、理解できていないのです。しかし、人間はその人や周りの状況を「慮る」ことができます。相手の精神状態、口調、言い回し、声のトーン、顔つき、姿勢など、様々な状況から、何故そうしたことばが出てきたのかを考え、そのことばの意味を汲み取っていくことができるのです。それこそが、まだA Iが到達できていない能力であり、人間としての価値がそこにあるのではないかと感じています。逆にそこを失ってしまうと、A Iが人間に取って代わってしまう時代が、本当にやってきてしまうのではないかと恐ろしさを感じてしまいます。A Iの成長は、私たちに、人と人との関わりや相手を思いやる大切さを再認識すべきだと教えてくれているようです。

この本を読んで、子どもたちに次のことをしっかりと意識して欲しいと感じました。1つは、将来A Iに仕事を奪われないためにも、「読解力」を向上させることです。文章を読み解く力は、数学の文章問題を解くカギにもなります。もう1つは、A Iとの付き合い方です。便利に上手に使えるならいいのですが、自分で考えることをしないでA Iにやらせたり、それを自分が考えたかのように使ってはいけません。勝手に使うと個人情報保護法に触れることもありますし、自分の成長に全くつながりません。安易に答えを得ようとしたり、やるべきことをやらずにズルをするために使うものではないのですから。



4月の二中生

4月11日、新入生を迎え、全校生徒495名で令和5年度のスタートを切りました。入学式当日は、天候にも恵まれ、新しい生活を始めるのにふさわしい日になりました。新型コロナウイルス感染症対策のため、在校生は参加することができませんでしたが、上級生らしく立派に入学式の準備を行いました。

着任式・学級開き・入学式・新体力テスト



親睦を深めるレクリエーション

《1年生》

《2年生》

《3年生》



新入生歓迎会・避難訓練・仮入部・春季大会



保護者会等で来校する際のお願い(通年)

- ・上履き、下足袋をご持参ください。スリッパの貸し出しは、原則行いません。
- ・授業や掲示物等の撮影・録画は御遠慮ください。また、校内での電話はお控えください。
- ・名札の準備をお願いいたします。

GIGAスクール構想におけるタブレットの活用について

子どもたちが意欲的に学び、社会的自立に向けた基礎的な資質・能力を身に付けるための手段のひとつとして、学校でもICTを活用した取組を推進しています。ご家庭でも、携帯・スマホの使い方、SNSへの書き込みの危険性等をご指導いただきますようお願いいたします。

インターネットトラブル事例集2023年版(総務省)⇒



5月の予定

2日(火) 授業参観・部活動保護者会
10日(水) 内科検診(3年)
11日(木) 歯科検診(1年・3年・7組)
16日(火) 眼科検診(1年)・尿検査二次
17日(水) 内科検診(1年・2年)
18日(木) 歯科検診(2年)
19日(金) 生徒総会
27日(土) ~ 29日(月) 3年 修学旅行

30日(火) 3年代休 松戸市小中学校体育大会
31日(水) 3年代休

本校には、「セクハラ相談窓口」を開設しています。いじめやセクシュアル・ハラスメントなど嫌な思いをしたり困っていることがあったりしたら、いつでも相談してください。
※担当: 坂口教頭、梅田教諭、祖母井教諭、鷲谷教諭、
 宍戸教諭、大村養護教諭